

NISA が範としている英国 ISA ではここ 3 年、  
内外の高配当株志向が高まっている。  
その理由は何か？

※国際投信投資顧問 投信調査室がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

## NISA は 1 月末 650 万人、12 月末 865 万人、金額にして 4.1 兆～5.5 兆円へ？

2014 年 2 月 12 日に野村総研が「NISA(少額投資非課税制度)の利用実態調査」を発表(URL は後述[参考ホームページ])、そこに「1 月末 650 万人、12 月末 865 万人、平均投資額 59 万 3 千円(\*84.4%を占める一括型 64.1 万円、6.5%を占める積立型 37.2%、9.1%を占める一括型・積立型の併用 9.1%)」と言う推計があった。2014 年 2 月 13 日付日本経済新聞は同調査を使い「**年内に NISA を利用する意向を示した人を含め、今年末までに想定する投資金額は 1 人あたり 64 万円。その結果、NISA 口座を経由し年内に 4.1 兆～5.5 兆円の資金が市場に流入する**という。」と報じた(URL は後述[参考ホームページ])。

1 月 24 日に国税庁が発表した 2013 年 10 月(開設受付開始)～12 月の口座開設数は 475 万人だったので、1 月に 175 万人が増えた計算となる(\*475 万人…2014 年 1 月 27 日付日本版 ISA の道その 43～URL は後述[参考ホームページ])。「2014 年に 5～600 万人、4～5 兆円となる可能性は十分あると言えそう」と言う「大胆」でもあった当コラム予想を超える勢いである(2013 年 6 月 3 日付日本版 ISA の道その 14～URL は後述[参考ホームページ])。

## NISA が範としている英国 ISA ではここ 3 年、内外の高配当株志向が高まっている

日本で NISA が予想を超える勢いとなる中、2014 年 1 月 29 日に NISA が範としている英国 ISA/Individual Savings Account(個人貯蓄口座)の 2013 年末データが英国投資運用業協会/IMA より発表された(URL は後述[参考ホームページ])。

英国ISAの分類別純設定(=設定-解約) 暦年 (単位: 百万英ポンド)

\*最新暦年(最も右側)の純設定が大きい順 上位10分類と下位10分類

順位	IMA分類 (英国投資運用業協会分類)	2008年 (1～12月)	2009年 (1～12月)	2010年 (1～12月)	2011年 (1～12月)	2012年 (1～12月)	2013年 (1～12月)
上位 10 分類	1 株20～60%、英ポンド30%以上	-205	+80	+145	+322	+355	+408
	2 英国高配当株	-102	-69	+60	-38	+20	+322
	3 英国ストラテジック・ボンド	-29	+27	+457	+465	+441	+276
	4 グローバル高配当株	+0	+0	+0	+0	+202	+258
	5 グローバル株	-6	+27	+221	+252	-111	+224
	6 絶対収益型	+0	+18	+174	+130	+109	+222
	7 英国中小型株	-34	-19	-24	+59	-7	+216
	8 株40～85%、英ポンド25%以上	+315	+675	+869	+671	+149	+173
	9 グローバル債	-6	-7	+104	+149	+159	+167
	10 北米株	-24	-5	+64	+65	+99	+157
下位 10 分類	27 短期マネーマーケット	+0	+0	+0	+0	-5	-3
	28 中国株	+0	+0	+0	-8	-37	-22
	29 欧州株(含む英国)	-13	-19	-31	-24	-36	-25
	30 英国国債	-0	+2	+19	+50	+7	-33
	31 スペシャリスト	+8	-2	+182	+139	-10	-51
	32 英国株式・英国債券	-111	-45	-46	-51	-68	-75
	33 フレキシブル・インベストメント	-62	-40	+36	+65	-47	-105
	34 欧州株(除く英国)	-320	-211	-384	-348	-316	-191
	35 英国投資適格社債	-573	-131	+49	-164	+202	-291
	36 英国株	-751	-269	-767	-814	-1,034	-519
	英国ISA全体	-1,775	+937	+3,214	+2,921	+1,328	+1,753

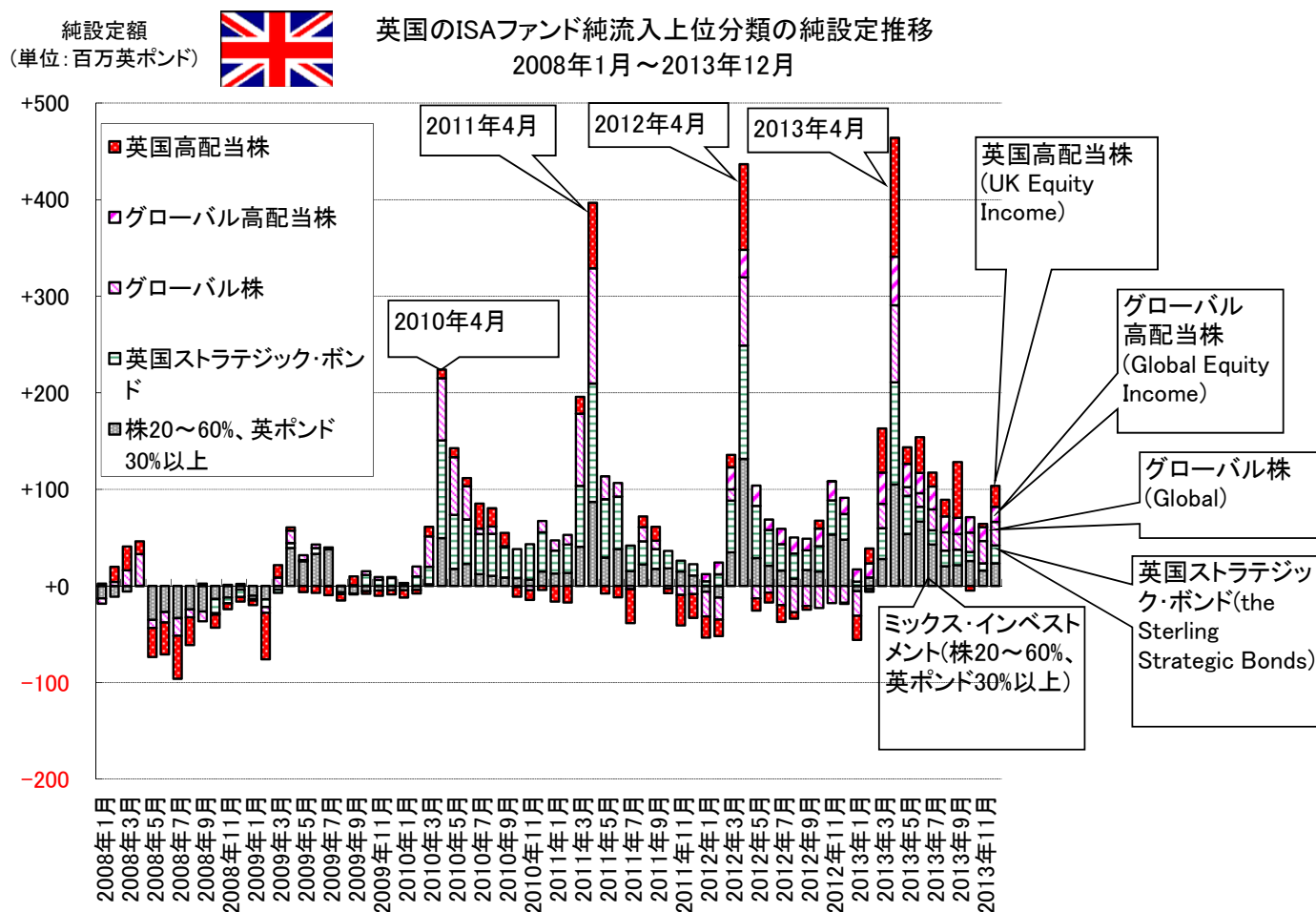
(出所: 英国投資運用業協会/IMAより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

\*数値は改訂前。

前頁テーブル「英国 ISA の分類別純設定(=設定-解約)」は、投信調査室でこれまで発表されてきたデータを集計したものであり、その後の改定は反映されていないことに注意してほしい(\*最新の IMA 発表値と幾らか違って来る)。最下段に英国 ISA 全体があるが、2013 年(1~12 月)純設定は+17.53 億英ポンド(約 3000 億円)の純流入となっている(\*2013 年 12 月末の英国 ISA の純資産は 1312 億英ポンド/約 22 兆 9000 億円)。

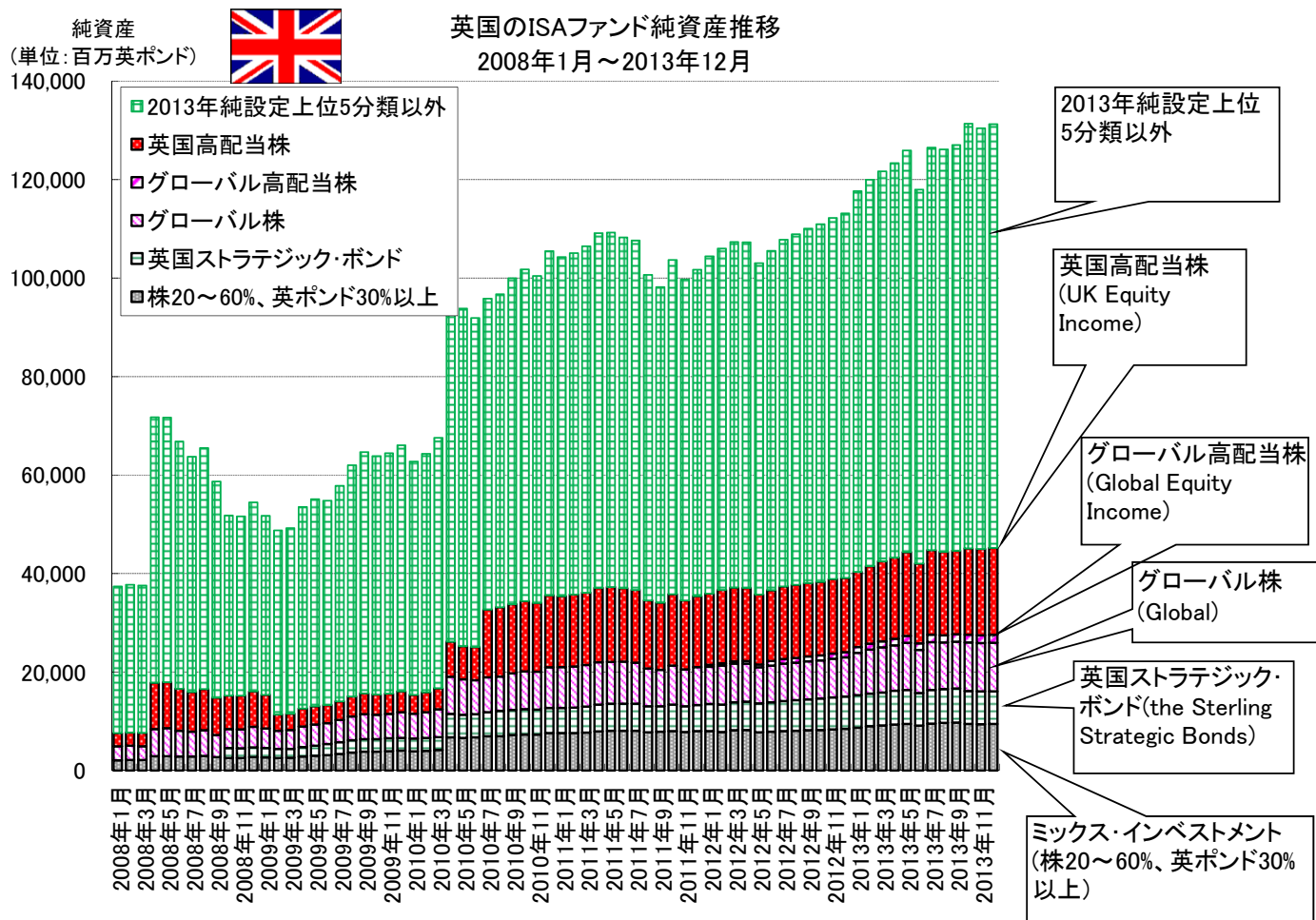
投資対象を見るべく分類を見よう。ただ、少し前の 1 月 27 日付日本版 ISA の道その 43 において、2013 年 11 月末までのデータを使って、英国 ISA ファンドの大きな分類(国内株や海外株など)について見ている(URL は後述[参考ホームページ])。そこで今回はより細かい IMA 分類(英国投資運用業協会分類)、全 36 分類を見る。前頁テーブル「英国 ISA の分類別純設定(=設定-解約)」に出ているのだが、最新暦年(2013 年)が最も右側にあり、その大きい順となっている。

上位 10 分類と下位 10 分類を示しているが、純設定(純流入)の 1 位は「株 20~60%、英ポンド 30%以上」で、2 位は「英国高配当株」、3 位は「英国ストラテジック・ボンド」、4 位は「グローバル高配当株」、5 位は「グローバル株」となっている。一見、株式ファンドに純流入が多いようだが、そこは下段も見てほしい。最下位(36 位)も英国株である。さらに 4 年連続最下位である。下記グラフ「英国の ISA ファンド純流入上位分類の純設定推移」は時系列でより詳しく見るべく月次で見たものである(改定前)。純設定(純流入)に占める分類に変化のあることがわかるだろう。



(出所: 英国投資運用業協会/IMAより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

次頁グラフ「英国の ISA ファンド純資産推移」に英国の ISA ファンドの純資産推移を掲載したが、上記「2013 年純設定上位 5 分類」は、それ以外と比べて残高的には大きくないものの、この 3 年間で増えていることがわかる。



増加の背景として、2010年4月から急増していることから、英国における上場株式・株式投信の配当・分配金にかかる税金が2010年4月6日に「10%と32.5%(2段階の累進税率)の総合課税」から「0%と10%と32.5%と42.5%の総合課税」になったことが影響しているのかもしれない。

もしくは英国株式型ISAの非課税投資額が2008/2009課税年度(2008年4月6日～2009年4月5日)は年7,200英ポンドだったのに対し、2010/2011課税年度(2010年4月6日～2011年4月5日)は年10,200英ポンド(50歳以上は2009年10月6日から年10,200英ポンド)に急増しており、その分が中心となって内外の高配当株などに向かったかもしれない。

ちなみにNISAでは分配金再投資は新規投資と見なされるが、英国ISAでは分配金再投資は新規投資と見なされないため、株式配当を原資に分配をしても非課税投資の枠を減らすことはない。

最後に、ISAファンドを含む英国投信全体(個人向け)の2013年(1～12月)純設定を見ておくと、+204億英ポンド(約3兆5000億円)の純流入であり、その分類1位は「株20～60%、英ポンド30%以上」、2位は「絶対収益型」、3位は「英国高配当株」、4位は「グローバル高配当株」、5位は「不動産」と、上記英国ISAファンドに近い感じであることがわかる。つまり、先の英国ISAファンドの動向は、単に英国の個人投資家全体の傾向と云うことなのかもしれない。

いずれにしろ、思い込みを避け、データをしっかり見ながら、本家・英国ISAを理解したい。

[参考ホームページ]

野村総合研究所「NISAの利用実態調査」…「<http://www.nri.com/jp/news/2014/140212.aspx>」、2014年2月13日付日本経済新聞朝刊…  
「[http://www.nikkei.com/article/DGXNZO66729060S4A210C1DT1000/?n\\_cid=TPRN0004](http://www.nikkei.com/article/DGXNZO66729060S4A210C1DT1000/?n_cid=TPRN0004)」、2014年1月27日付日本版ISAの道 その43「1月にも500万口座を超えそうなNISAで何をどう買うか。NISA本家英国では国内株や海外株などが買われている。締切ぎりぎりに買われているが、ドルコスト平均法が協会から薦められている。」…  
「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140127.pdf>」、2013年6月3日付日本版ISAの道 その14「カナダ版ISA『TFSA』を見ていると、日本版ISA(NISA/ニーサ)が2014年に5～600万人、4～5兆円となる可能性は十分あると言えそう～日英加の少額投資非課税制度比較～」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/130603.pdf>」、英国投資運用業協会(Investment Management Association/IMA)…  
「<http://www.investmentfunds.org.uk/>」。

以上

(投信調査室 松尾、窪田)

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

- 本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問 投信調査室の見解です。

また、国際投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。